<p>1. チャレンジ支援 推進事業の全体像</p>	<p>(事業名) 地域におけるチャレンジの推進</p> <p>(ネットワーク等全体像)</p> <p>「女性のチャレンジ支援」推進にかかる県民意識の高揚を図るため、県民会議等において自主的で具体的な取組に向けて議論を高めるとともに、女性センターを中心とした情報支援等のネットワークを構築。</p> <p>県民会議及び県民ミーティングでチャレンジ支援をテーマとした取組の実施</p> <p>女性のチャレンジ支援ネットワークの構築に向けた整備検討・検討会議の開催</p> <p>・「チャレンジサイトなら」の構築</p> <p>男女共同参画週間事業におけるチャレンジ支援の広報啓発</p> <p>(ネットワーク参加機関《協議会参加予定機関》)</p> <p>別紙のとおり</p> <p>(経過及び概要)</p> <p>平成16年6月 男女共同参画週間事業の実施</p> <p>9月 ネットワーク化に関する事前調査(関係機関の業務内容調査)実施</p> <p>10月 男女共同参画県民ミーティング開催</p> <p>12月 女性のチャレンジ支援ネットワーク化に関する検討会第1回開催</p> <p>12月 県民会議事業推進部会開催</p> <p>平成17年2月 ネットワーク化に関する検討会第2回開催</p> <p>2月～3月 チャレンジ支援講座開催</p> <p>3月末 チャレンジサイトの設置</p>
<p>2. 女性のチャレンジ 支援関係事業</p>	<p>(1) チャレンジ支援ネットワークを活かし、複数の機関が連携して行った事業</p> <p>女性のチャレンジ支援ネットワーク化に関する検討会</p> <p>連携機関 別紙のとおり</p> <p>連携事業の具体的な内容</p> <p>目的：奈良県で提供されている女性のチャレンジ支援関連情報のネットワーク化、一元化、各機関の連携</p> <p>経過：</p> <p>第1回</p> <p>日時：平成16年12月22日(水)</p> <p>場所：奈良県女性センター</p> <p>内容：</p> <p>(1) 基調講演「女性のチャレンジ支援について」 講師：佐野智世(戦略マーケティング研究所 ケイ・ファクトリー代表)</p> <p>(2) チャレンジ支援ネットワーク化に向けた情報交換・意見交換</p> <p>第2回</p> <p>日時：平成17年2月17日(木)</p> <p>場所：奈良県女性センター</p> <p>内容：○ネットワーク化とサイト構築に向けた意見交換 ○協議会への移行について</p> <p>女性のチャレンジサイト「チャレンジサイトなら」の構築</p>

(2)(1)に関連した関係機関等の取組

ア 男女共同参画県民ミーティング

女性のチャレンジ支援をテーマとした基調講演・パネルディスカッションと会場参加者との意見交換

連携機関

主催：奈良県

奈良県男女共同参画県民会議(県内の様々な分野で活動する広域的な団体、公募委員、関係行政機関等で組織)

共催：内閣府

後援：天理市、都祁村、山添村、川西町、三宅町、田原本町

具体的な内容

日時：平成16年10月9日(土)

場所：天理市文化センター 文化ホール

テーマ：「あなたのチャレンジを応援します」

内容：基調講演 パネルディスカッション

講師・コーディネーター：広岡守穂(中央大学法学部教授)

パネラー：(県内でチャレンジした男女)

イ 奈良県男女共同参画県民会議事業推進部会

女性のチャレンジ支援策に関する基調講演と、具体的な県内企業の取組事例の紹介およびポジティブアクションの推進に向けての意見交換

連携機関

主催：奈良県、奈良県男女共同参画県民会議

具体的な内容

日時：平成16年12月17日(金)

場所：奈良県文化会館

テーマ：「女性のチャレンジ支援策をめぐって」

内容：基調講演

講師：伊藤公雄(大阪大学大学院教授)

取組事例発表

取組企業名：大和信用金庫

平成14年度「ファミリー・フレンドリー企業」奈良労働局長賞受賞

平成15年度「均等推進企業表彰」奈良労働局長賞受賞

発表者：吉井良政(同信用金庫総務部副部長)

ウ 男女共同参画週間啓発事業

男女共同参画週間期間中に、女性のチャレンジ支援をテーマとした記念講演を開催

連携機関

主催：なら男女共同参画イベント2004実行委員会

(広く県内の各種団体に参加を呼びかけ、応募があった団体等で組織された実行委員会、県も参加)

日時：平成16年6月23日(水)～27日(日)

場所：奈良県女性センター

具体的な内容

(ア)6月23日(水) 記念講演「お笑いジェンダー論」

講師：瀬地山 角(東京大学助教授)

(イ)6月27日(日)

記念講演「樋口一葉とチャレンジした明治の女性たち」

講師：堀井幸子 見原正佐子(古典文学研究「W・Sの会」)

<p>3. 事業の成果及び今後の課題</p>	<p>エ 女性のチャレンジ支援講座 奈良で活躍しているNPOチャレンジモデルを例にNPOの基礎知識や組織の運営方法を学ぶ。 連携機関 主催：奈良県女性センター (連携)NPO 法人奈良NPOセンター 講師：仲川順子(NPO 法人奈良NPOセンター理事長) 場所：奈良県女性センター 期間：平成17年2月～3月 5回開催 具体的な内容 第1回 2月4日(金)「NPOとボランティアはどう違う」 第2回 2月8日(火)「NPOを運営しよう」 第3回 2月18日(金)「NPO・こんな活動あんな活動」 ～チャレンジモデルから学ぶ～ 第4回 2月25日(金)「NPO・こんな活動あんな活動」 ～チャレンジモデルから学ぶ～ 第5回 3月4日(金)「協働って必要？NPO・自治体・企業」 ～NPOこれからの発展に向けて～</p> <p>(1)事業全体の成果</p> <p>ア 男女共同参画県民ミーティング ○参加者数：120名 ○主催者としての評価 ・講師から実体験に基づくわかりやすい基調講演をいただいたこと及びパネラーから様々なスタイルでのチャレンジの事例を紹介していただいたことにより、参加者にチャレンジとその志の大切さを理解していただいたと認識。 ・台風接近のため開催が危ぶまれたが、参加者の満足度は高かったと認識。 ○参加者の主な意見 ・志をもってチャレンジすることの大切さを再認識した。 ・いろんなチャレンジの形や大きさがあることを理解した。</p> <p>イ 奈良県男女共同参画県民会議事業推進部会 ○参加者数：27名 ○主催者としての評価 ・事業推進部会は経済団体等を中心とした構成であるため、“なぜ女性のチャレンジ支援策が必要なのか”という基調講演と、具体的な取組事例を発表していただいたことで、企業の取組について一定の方向性を示すことができたとの認識。 ○参加者の主な意見 ・「企業」としての取組を「地域」にも応用したい。 ・制度があるのならその運用が大切。</p> <p>ウ 男女共同参画週間啓発事業 (ア)「お笑いジェンダー論」 ○受講者数：142名 ○主催者としての評価 ・男女共同参画社会と女性が「チャレンジ」することの意義を一般参加者にも伝えることができたとの認識。</p>
------------------------	---

	<p>○参加者の主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の周りの人達に伝えて、男女共同参画社会に少しでも近づけるようチャレンジしていきたい。 ・女性が様々なことにチャレンジし、能力を発揮することで男性も社会も楽になるなら、こんなにいいことはない。 <p>(1)「樋口一葉とチャレンジした明治の女性たち」 受講者数：88名</p> <p>○主催者としての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治に生きた女性たちのチャレンジを、わかりやすく一般参加者に紹介できたものと認識。 <p>○参加者の主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治という女性が生きにくい時代に、悩みながらもチャレンジしている女性がいることを教えてもらって、自分も頑張る勇気が持てた。 <p>エ 女性のチャレンジ支援講座</p> <p>○受講者数：37名</p> <p>○主催者としての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとNPOの差異やNPOの基礎知識、運営方法などを学んでいただくことができたと認識。 <p>○参加者の主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を聴くことでNPO活動が身近なものになった。 ・今回の継続として、実践上のノウハウに関する講座をしてほしい。 <p>(2)今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジサイトの利用促進を図るため、あらゆる機会を通じたPRの実施 ○女性センターの「ワンストップ化サービス」に向けた関係機関との連携、特に各機関の特性を活かすための相互連携のあり方の検討 ○チャレンジサイトでの積極的な「チャレンジモデル」の提示 ○拠点である女性センターのコーディネート機能・アドバイザー機能の充実と多様な人材活用 ○県民会議構成各団体において、「チャレンジ」の視点での自主的な取組
4.備考	<p>関連事業：「知事と女性リーダーとの談話会」開催 テーマ:私たちの再チャレンジ 開催日時:8月3日(火) 参加者:9名</p>
5.担当部課等	<p>(所在地)奈良市登大路町30 (部課名)奈良県生活環境部男女共同参画課 (担当者)高田尚孝</p>

奈良県「女性のチャレンジ支援ネットワーク化に関する検討会」開催要綱

1. 趣 旨

日本の女性は、諸外国に比べ教育水準が高く潜在的に大きな能力を持っているにもかかわらず、その能力が活かされていない現状を踏まえ、女性はその意欲と能力に応じて再就職等の雇用や起業、NPO、農林水産業、まちづくり、地域社会、行政、国際等の各種分野における様々な活動に積極的に参画していくための支援が必要である。

チャレンジしたいと考える女性が必要とする情報を“いつでも、どこでも、だれでも”ほしいときに、関係機関の垣根を越えて容易に入手することができるよう、奈良県で提供されている女性のチャレンジ支援関連情報のネットワーク化、ワンストップ化の実現及び、関係機関の連携による効率的な支援に向けた検討を行うため、関係行政機関や団体等で構成する「女性のチャレンジ支援ネットワーク化に関する検討会」（以下、「検討会」という。）を開催する。

2. 検討事項

- (1) 奈良県女性センターを拠点とした女性のチャレンジ支援関連情報の一元化について
- (2) 女性のチャレンジ支援の充実に向けた関係機関等の連携について
- (3) その他

3. 構成員

検討会の構成は、別表1に掲げる県及び関係機関の長、別表2に掲げる県庁内関係課（室）長とする。また、必要に応じ、別紙以外の者にも協力を求めるほか、関係者の意見を聞くことができるものとする。

4. 日 程

検討会の開催は、平成17年3月31日までとする。

5. 事務局

この検討会の事務局は、男女共同参画課及び女性センターが担当する。

別表 1

分野	構成員
雇用・起業・ 農林水産業	(財) 21世紀職業財団奈良事務所 奈良公共職業安定所(ワークプラザ・なら) 奈良県福祉人材センター (財) 奈良県中小企業支援センター 奈良県奈良しごとiセンター 奈良県新規就農相談センター
地域等 社会活動	まほろば地域づくりネット(奈良県企画部地域政策課) (財) なら・シルクロード博記念国際交流財団 (財) 健やか奈良支援財団 奈良県総合ボランティアセンター(奈良県生活環境部県民生活課) 奈良県社会福祉協議会 ならボランティアネット(奈良県生活環境部県民生活課)
育児・介護	奈良県子育て家庭サポートセンター
県内女性セン ター等	奈良市男女共同参画センター 天理市男女共同参画プラザ 生駒市女性センター 奈良県生活環境部男女共同参画課 奈良県女性センター

別 表 2

奈良労働局

雇用均等室

職業安定課

奈良県

企画部

地域政策課

企画部観光交流局

文化国際課

福祉部

福祉政策課

高齢福祉課

介護保険室

福祉部こども家庭局

こども家庭課

生活環境部

県民生活課

商工労働部

中小企業課

新産業創造課

雇用労政課

農林部

農業水産振興課